

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 7年 2月 28日

事業所名： 子ども発達支援ぽっぽ白鳩

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	14	2	0	・十分なスペースを生かし、様々な活動に生かしている。	66	0	0	3	・更に活用のバリエーションを広げたい。	
	2 職員の適切な配置	11	4	1	・日々の人数変更に対応し、適切な配置をしている。	63	1	0	5	・余裕のある人員が確保できているので、引き続き適切な配置を遵守する。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	14	2	0	・特性に応じた環境設定を日々心掛けている。	65	0	0	4	・個々の特性について理解し、職員間でよりよい環境設定をする。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	16	0	0	・時代に合った感染対策を継続し、子ども達が過ごしやすい空間作りをしている。	67	0	0	2	・過ごしやすい環境を作ってくれている。	・安全で居心地のいい空間作りを目指す。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	12	4	0	・職員間で一丸となって取り組んでいる。					・職員、目標達成に向けて積極的に参画する。	
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	11	5	0	・実施に向けて、準備している。					・できるだけ早く実施する。	
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	13	3	0	・発達支援センターの講習を職場で実施。					・研修会の制度を整える。	
適切な支援の提供	1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか	16	0	0	・制度改正により、より支援の明確化が求められているため、日々試行錯誤であるが頑張っている。	66	1	0	2	・いろいろな情報をもとに支援プログラムを作成している。	
	2 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	16	0	0	・相談支援事業所と情報共有し、課題を明確にしたうえで、支援計画の作成を行っている。	65	1	0	3	・学習ができそうな子には、もう少し支援があってもよいかと思います。	・併設する相談支援事業所があるという強みを生かし、ピンポイントな支援計画作成作りをする。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	15	1	0	・関係者により、定期的かつ継続的に一人一人の特性、現在の状況をもとに支援項目並びに支援内容の協議、検討を行っている。	69	0	0	0	・課題点を一緒に考えていただいて、対応していただいている。	・担当者内で意見を出し合い、内容を充実させていく。
	4 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	16	0	0	・専門分野の強みを生かして、支援計画に反映できている。					・引き続き、柔軟な思考で計画の作成に臨む。	
適切な支援の提供(続き)	5 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	14	2	0	・定期的に職員間で支援内容の共有を図るとともに、評価を行い支援の質の向上を図りながら実施している。	69	0	0	0	・支援内容を確認しながら、進捗も確かめながら支援を実施する。	
	6 チーム全体での活動プログラムの立案	14	2	0	・子どもに関わるチームで活動内容を決めている。					・子どもの関心や流行なども取り入れながら、活動プログラムを練っていく。	
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	16	0	0	・活動が日々マンネリ化しないように、新しい取り組みなども試している。	62	2	0	5	・季節の行事などもうまく取り入れ、楽しいプログラムを実行していく。	
	8 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	14	2	0	・関係職員で利用児童の現状等を参考に長期休暇の工夫に努めている。					・子どもたちの要望も取り入れ、メリハリをつけて支援する。	
	9 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	16	0	0	・朝会にて、クラス毎のねらいや目標、活動、役割等を確認し、修正して支援にあたっている。					・職員が集める折角の時間なので、情報共有し、より具体的な有意義な会にする。	
	10 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	15	1	0	・支援後、職員間でその日の気づきや反省など話し合い、上司に報告している。					・その日あったこと、気づきは忘れられないように記録や伝達し、次回からの支援に生かす。	
11 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	16	0	0	・日々の活動記録及び達成記録を蓄積するとともに、改善の資料としている。					・日々の活動記録・達成記録をし、改善点なども話し合う。		
12 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	16	0	0	・規定に則ったモニタリングを行い、的確な計画の見直しをしている。					・支援に関わる職員でのモニタリングで、計画の見直しなどをきっちり行っている。		

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	16	0	0					・一番子供の状況をわかったクラス担任が会に出席できるように、職員の拡充をしていく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施								
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備								
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	16	0	0					・保育所等訪問支援や、伝達内容を記載したメモなども活用し情報共有している。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	15	1	0					・引き続き、資料提供や会などで情報共有を行っていく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	13	3	0					・専門機関との連携や専門的研修受講の機会を増やそうとしている。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	16	0	0	62	2	0	5	・活発に交流されていると思う
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	11	2	3					・秋祭りなどは、関係者を呼んで交流している。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	16	0	0	68	1	0	0	・説明の機会を増やししながら、また不明点など気軽に問い合わせできるような雰囲気作りに努めたい。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	16	0	0	69	0	0	0	・保護者にもわかりやすい丁寧な説明をしていく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	9	4	3	48	10	0	11	・コロナ前に実施していたペアレントトレーニングは令和7年4月から再開予定。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	16	0	0	69	0	0	0	・送迎時にも様子や発達など伝えてくださりありがとうございます。連絡帳に丁寧に記入していただいている。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	16	0	0	65	2	0	2	・何かある時には連絡をくれ、相談にものってくれて助かっています。定期的な面談時、助言いただいている。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	8	5	3	30	10	4	25	・保護者に会う機会がないので、行事で会っても話すことがない。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知方法の工夫及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	15	1	0	52	3	0	14	・苦情窓口を設けているので、要望があった際には迅速な対応を心掛ける。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	15	1	0	65	3	0	1	・自分本位にならないように、保護者の声を聴けるような事業所を目指す。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	15	1	0	66	1	0	2	・ぼっぼ便りを中心に、活動内容などを発信していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	16	0	0	64	2	0	3	・職員会等で、個人情報についての危機管理意識を徹底している。
1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	16	0	0	61	2	0	6	・各マニュアル等の内容について、保護者に周知する機会を設ける。	

